

大会決議

我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後及び択捉の北方領土返還の実現は、我々に課せられた国民的課題であり、全国民の悲願である。

終戦直後の昭和 21 年 12 月に私たちの先輩が北方領土返還要求運動の狼煙を上げてから、65 年間の歳月が過ぎようとしている今日もなお、北方領土が返還されていないことは誠に遺憾である。

このような中、北方領土と海域を不法に占拠され、失望と挫折を繰り返しながらも、北方領土返還運動の原点の地として、故郷の一日も早い返還を願い、一貫して全国民の先頭に立って運動に邁進してきたことは、必ずや領土問題解決の前進に大きく貢献すると確信する。

元島民の平均年齢も 76 歳を超え、約 6 割以上の方々が返還への熱い思いを胸に抱きながらも、故郷の地を踏むことなく他界されている現実を見たとき、残された時間はあまりにも少なく、国に対し、不退転の決意のもと、これまで以上の強力な外交交渉により、北方領土の早期返還を強く要望する。

私たち根室市民は、本日ここに返還要求運動原点の地の市民として、全国にこの痛みと怒りの声を発信し、国民世論の一層の喚起高揚と、断固たる決意と熱意をもって、更なる北方領土返還要求運動に尽くすことを決議する。

平成 22 年 8 月 1 日

北方領土返還要求根室市民大会